お父さん、
お母さんは
どう思ってる？

「親子のメディア利用」

ー交流会懇談テーマー

7月6日に花巻市内保育園・幼稚園・認定こども園の保護者会の代表の皆さんに集まっていただき、保護者代表者交流会を開催しました。今年度の懇談テーマを「親子のメディア利用」とし、家庭での実態、利用の工夫や意識していること、親の思いや願いについてグループで意見を出し合ってみましたので紹介します。

平成30年度　花巻市内保育園・幼稚園・認定こども園
保護者代表者交流会　懇談テーマ:「親子のメディア利用」

親子のメディア利用の実態

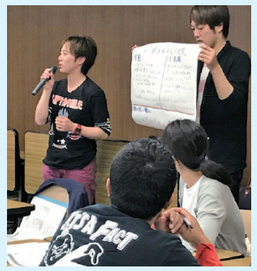
●みんながもっているから、ゲームを持たせてしまう。
●心配もあり、キッズケータイを持たせている。
●スマホやゲームを持たせると手がかからなくて楽な部分もあり、頼ってしまう。
●大家族なので、父母と一緒の時はうまく制限できるけど、祖父母のところではよくテレビを見ている。
●ゲームで遊ぶこともあるけど、学習に役立っている
●今のところゲームをさせない、買わないという思いで子どもと接している。
●一緒に本を読む時間を作ってテレビやゲームばかりにならないようにしている。
●親もテレビは見たい。テレビを一緒に見て共通の話題になることもある。
●日常生活の中で、全くメディアに触れさせない状況を作るのは難しい。

利用の工夫や意識していること

●メディア使用の時間を決める。
●テレビを消すことで、本を読む時間や会話が増えている。
●子どもは親が使っているものに興味を持つので、スマホは子どもの前ではなるべく使わない。
●メディア利用だけではなく、バランスのとれた生活になるよう早寝早起き、親子の時間などもなるべくとるようにしている。
●鉄棒の前回りの動画を一緒に見るなど情報収集のツールとして有効に使うことを教えたいと思っている。
●外遊びを一緒にするように意識している。

親の思い・願い

●使い方について「自己コントロール」ができるようになって欲しい。
●人を傷つけることも人生を豊かにすることもできるから、親子で一緒に使い方を学んでいきたい。



短い時間でしたが、様々な考えや意見を交流しながら子どもたちのためにどうしていったらいいかを熱く語り合い、とても有意義な時間となりました。参加くださった保護者代表のみなさん、ありがとうございました。

今回話題にした「メディア利用」を含めた基本的生活習慣の確立は、小学校以降の学校教育でよく話題になる『学力』とも大きな関係があるといわれています。

小学校生活を充実させるために「今」できること

小学校に入学すると、今まで「遊び」をしていた時間が、「学習」の時間になります。

スムーズに学習に取り組んだり、学習が楽しいと感じられたりするために、家庭でできる「コツ」があります。どの家庭でもできることですので紹介します。

平成29年度「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」保護者に対する調査の結果と学力等との関係の専門的な分析に関する調査研究（国立大学法人お茶の水女子大学）平成30年3月30日 より

1. 基本的な生活習慣の確立

学校の学習がよく分かって楽しいという子は、「朝ごはん」をしっかり食べてから登校しています。朝ごはんは学習に向かうための大事なパワーの源です。しっかり食べる習慣をつけましょう。

また、ゲームや動画等の視聴のルールをしっかり決めて、守っている家庭の子どもは学習に集中して取り組み、理解することができています。

時間の使い方を親子で一緒に考えて、よい習慣を身につけましょう。

2. 非認知スキルを高める働きかけ

「非認知スキル」とは、テストでは測ることができないスキルのことで、「やる気」、「根気強さ」、「自制心」、「協調性」、「思いやり」などの気持ちのことを言います。

この「非認知スキル」が高い子は、難しい課題にも最後まで取り組もうとしたり、友達と協力して解決しようとしたりすることができます。

子どもの良いところをほめて自信を持たせたり、努力することや最後までやり抜く大切さを繰り返し伝えたりすることで非認知スキルを高めることができます。

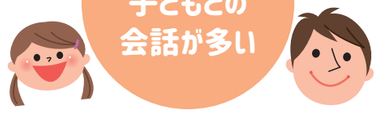
3. 知的好奇心を刺激すること

小さい頃に絵本の読み聞かせをしてもらい、本に親しむ環境にある子は学力が高い傾向があります。

花巻市には、「花巻図書館」「大迫図書館」「石鳥谷図書館」「東和図書館」があります。素敵な絵本がたくさんあります。また、こどもセンター内にも子ども向けの図書コーナーがあり、貸出をしています。

お父さんお母さんが子どもの頃に好きだった絵本を読んであげたり、お子さんの好きな本を一緒に読んだりする時間を過ごしてみませんか。

4. 子どもとの会話が多い



1から3のコツを支える前提として、「親子での会話が多い」ことがあげられます。

会話を通して、伝える力や気持ちを表現する力が自然と身につきます。

忙しく慌ただしい毎日ですが、ちょっとした時間に園のこと、友達のことなど子どもの話を聞く時間を楽しみましょう。お父さん、お母さんから世の中の出来事を話題にすることもいいですね。また、地域の行事に親子で積極的に参加することも共通の話題になりますね。

幼児期の習慣は、小学校以降の学校生活を充実させるための、大事な土台となります。

特に、基本的な生活習慣は、急にできるようになるものではありません。毎日、コツコツ取り組んでいきましょう。